

(資料 R7. 10. 1)

水稻の刈取り状況（9月30日現在概況速報）について

1 水稻の刈取り状況（各農業改良普及センターによる一斉調査）

- (1) 刈取り盛期（50％）は、平年より8日早い9月25日頃と推定されます。
- (2) 9月30日現在、県全体の水田の69％で刈取りが終了しています。地帯別では、北上川上流66％、北上川下流68％、東部77％、北部84％となっています。

表1 県内水稻の刈取り状況（9月30日現在、各農業改良普及センター調査）

地帯名	9/30現在の刈取り進捗(%)					本年の刈取り時期(月/日) ²⁾					
	本年	過年次同時期				始期	盛期	終期	平年(月/日) ³⁾		
		平年	R6	R5	R4				始期	盛期	終期
北上川上流	66	35	56	60	26	9/14	9/25		9/22	10/4	10/15
北上川下流	68	42	72	80	12	9/16	(9/26)		9/23	10/2	10/12
東部	77	45	68	72	38	9/14	9/24		9/22	10/1	10/13
北部	84	32	70	63	27	9/14	9/21		9/26	10/5	10/17
県全体 ¹⁾	69	40	68	74	17	9/15	(9/25)		9/23	10/3	10/13

- 1) 県全体…地帯別の水稻作付面積比による加重平均。
- 2) 刈取り時期…始期：10％、盛期：50％、終期：90％の水田で終了した日。
盛期（括弧書き）は、9/30現在で未到達の市町村を含むため暫定値。
- 3) 平年…平成27年～令和6年の10ヵ年の平均値。

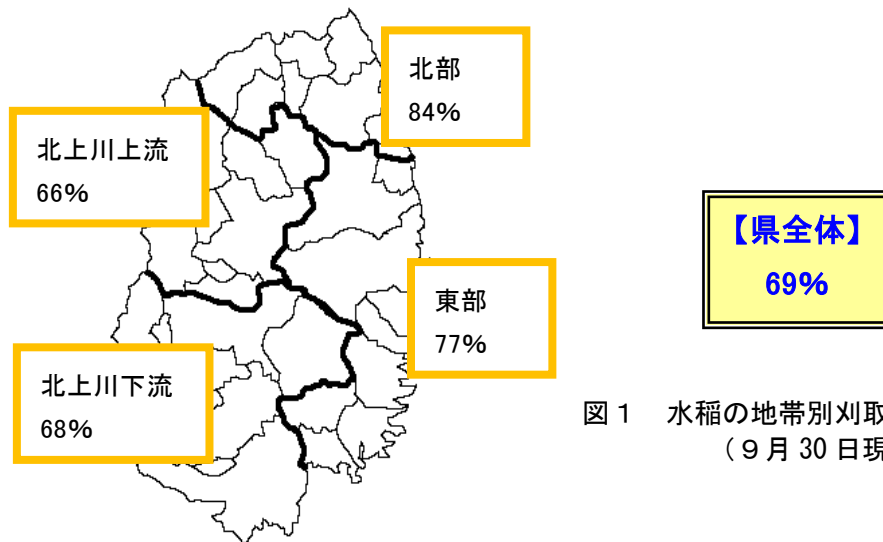


図1 水稻の地帯別刈取り状況（9月30日現在）

2 当面の技術対策

- (1) 刈遅れは着色粒、胴割粒、白未熟粒の混入率を高めるので、速やかに刈取りを終えること。
- (2) 倒伏したほ場では、コンバイン等の作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
- (3) 収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめる、農作業安全に心がけること。
- (4) 粳の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げること。
- (5) 自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。